

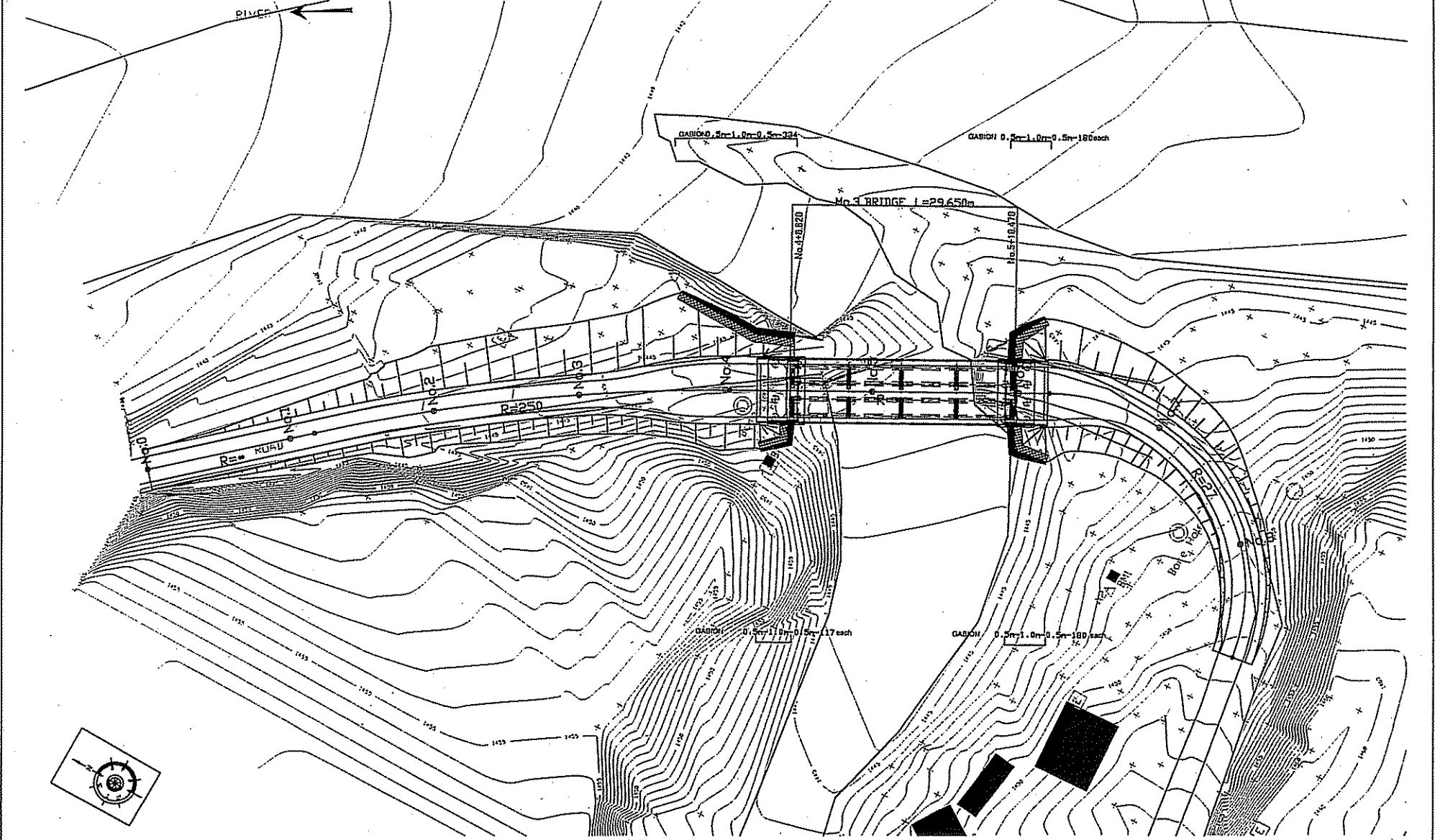
補足資料 3 : 図面集 (橋梁)

図面リスト

BR-1 :	橋梁 No.3 (バンナ橋) - 配置計画図 補 3-1 (No.3 Bridge at Km 5 (Banna Bridge) – General View Plan)
BR-2 :	橋梁 No.3 (バンナ橋) - 一般計画図 補 3-2 (No.3 Bridge at Km 5 (Banna Bridge) – General Arrangement)
BR-3 :	橋梁 No.6 (ボーイズ・カレッジ橋) - 配置計画図 補 3-3 (No.6 Approach to Govt. Degree Boys College (Battagram College Bridge) – General View Plan)
BR-4 :	橋梁 No.3 (ボーイズ・カレッジ橋) - 一般計画図 補 3-4 (No.6 Approach to Govt. Degree Boys College (Battagram College Bridge) – General Arrangement)
BR-5 :	橋梁 No.7 (バハリ橋) - 配置計画図 補 3-5 (No.7 Bridge (Bahari Bridge) – General View Plan)
BR-6 :	橋梁 No.3 (バンナ橋) - 一般計画図 補 3-6 (No.7 Bridge (Bahari Bridge) – General Arrangement)

GENERAL VIEW PLAN

SCALE=1:500

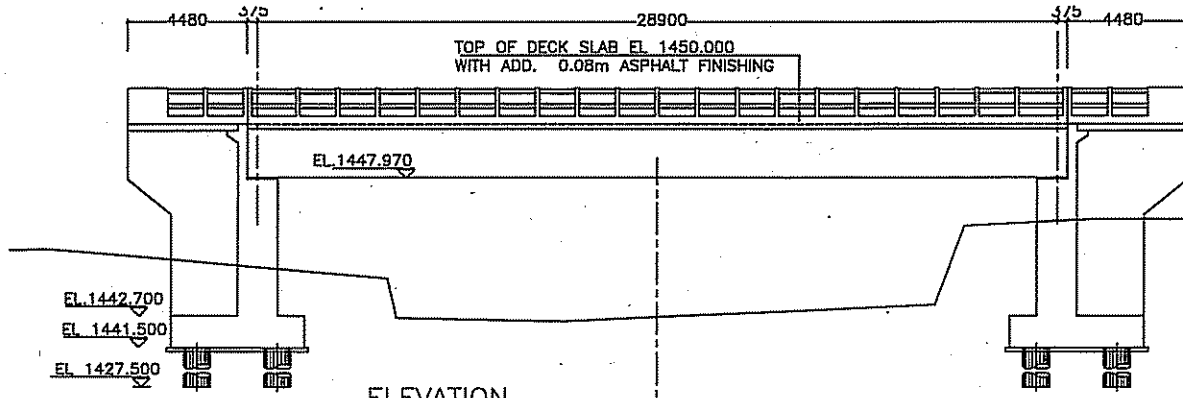


補 3-1

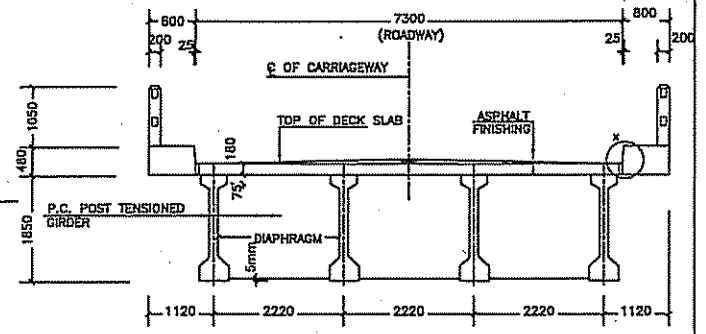
GOVERNMENT OF N.W.F.P WORKS & SERVICES DEPARTMENT	JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY ASSIGNED TO: NIPON KOEI CO., LTD. (NK) BINKO INTERNATIONAL, LTD.	DI		DESIGNED BY		No.3 BRIDGE at Km 5 (BANA BRIDGE)	GENERAL VIEW PLAN	SCALE AS SHOWN
		CI		DRAWN BY				
		CE		CHECKED BY				
		CL		RECOMMENDED BY				
		REV. DATE	DESCRIPTION	APPROVED BY			DATE	

BR-1: 橋梁 No.3 (バナナ橋) - 配置計画図

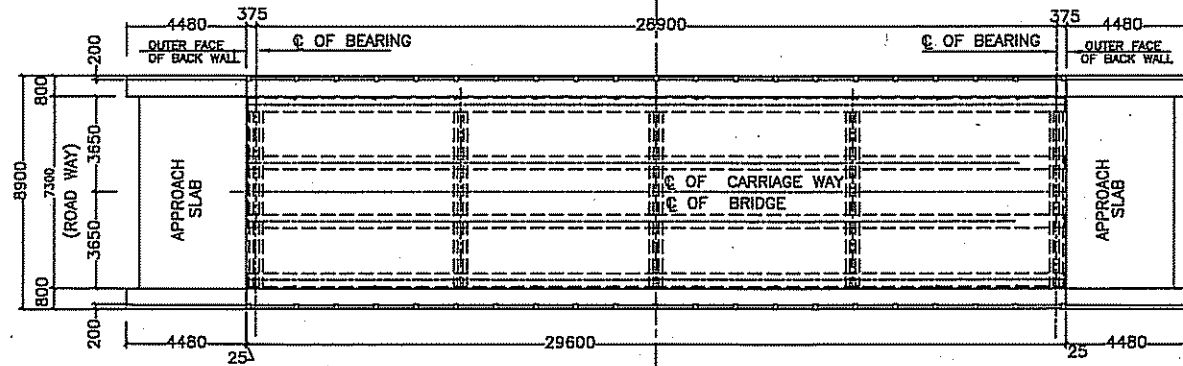
補 3-2



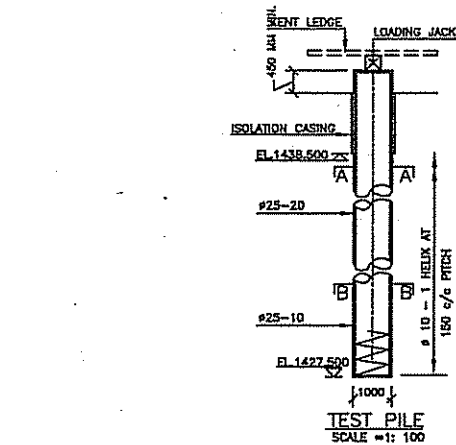
ELEVATION
SCALE 1: 200



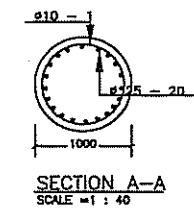
CROSS SECTION
SCALE 1: 100



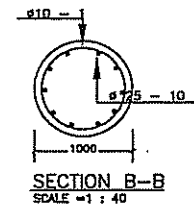
PLAN OF DECK SLAB & APPROCHES
SCALE 1: 200



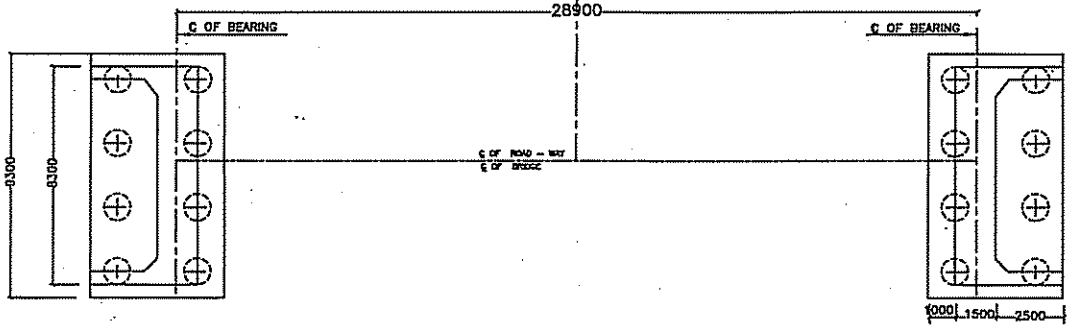
TEST PILE
SCALE = 1: 100



SECTION A-A
SCALE = 1: 40



SECTION B-B
SCALE = 1: 40



GOVERNMENT OF N.W.F.P
WORKS & SERVICES DEPARTMENT

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
ASSIGNED TO:
NIPPON KOEI CO., LTD. (NK)
BINKO INTERNATIONAL, LTD.

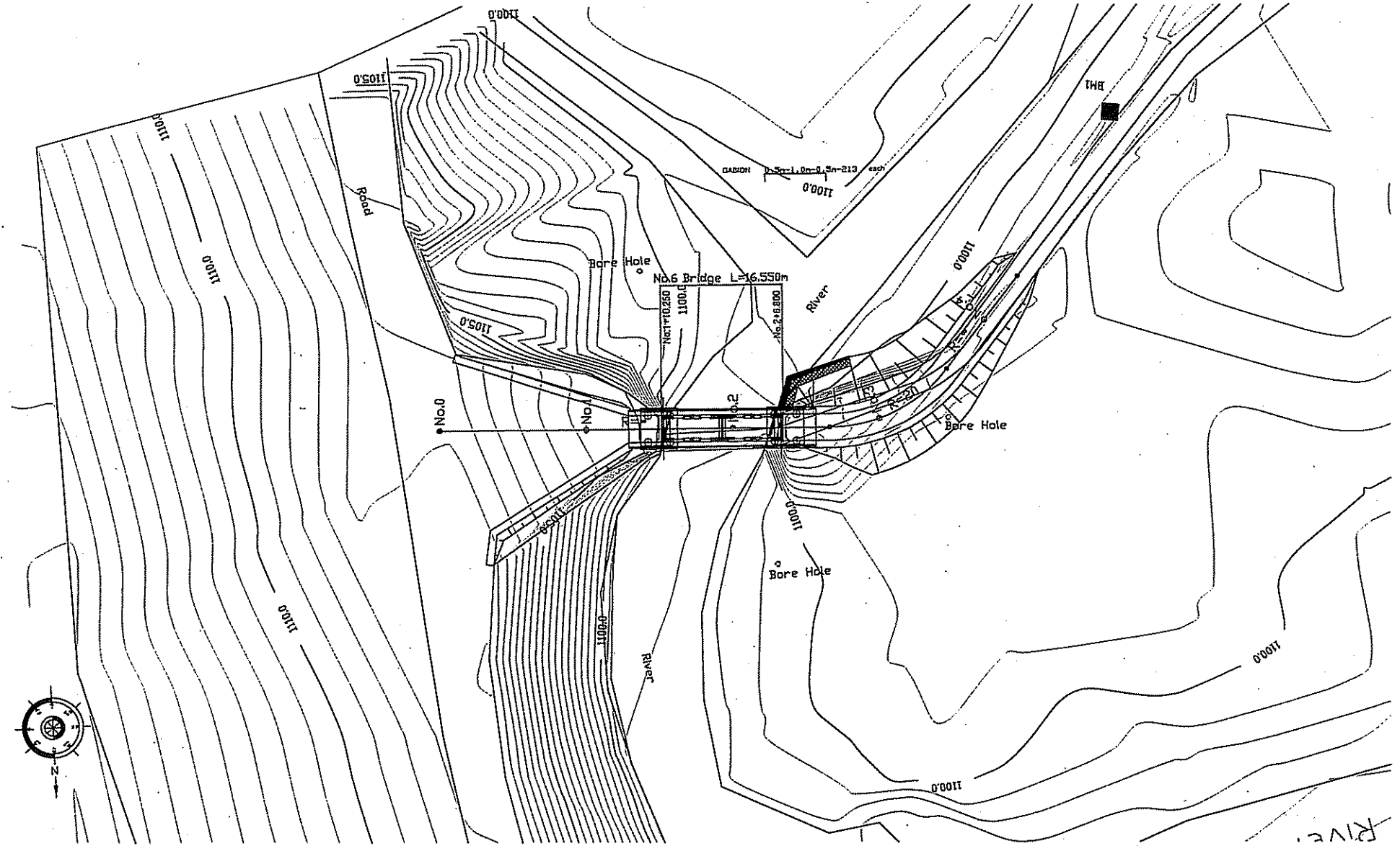
DESIGNED BY	SHAIKHAT ALI AYUB	
DRAWN BY	IFTIKHAR ABDAS	
CHECKED BY	ARMED MORGAN	
RECOMMENDED BY		
APPROVED BY		
REV.	DATE	DESCRIPTION

No.3 BRIDGE at Km 5
(BANA BRIDGE)

GENERAL ARRANGEMENT		SCALE AS SHOWN
DATE		

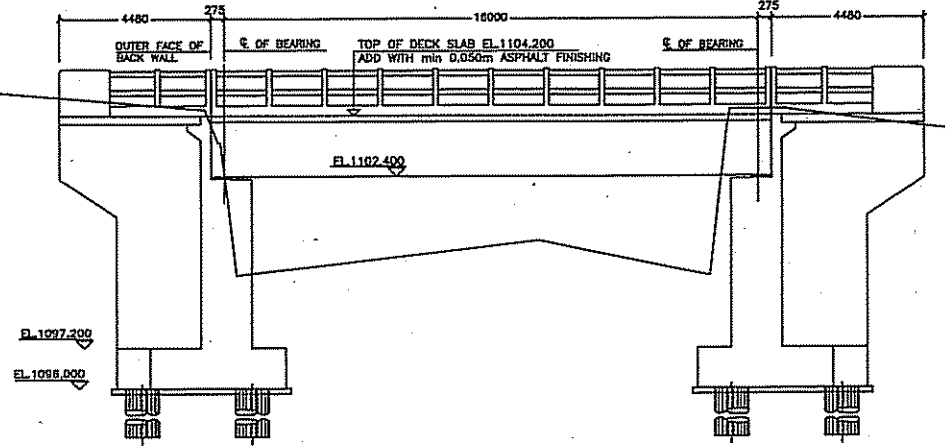
GENERAL VIEW PLAN

SCALE=1:500

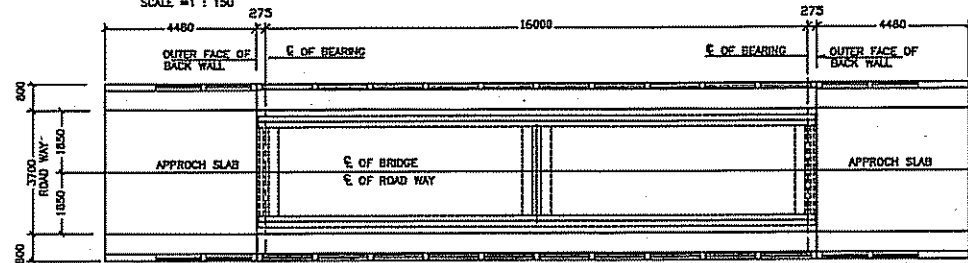


GOVERNMENT OF N.W.F.P WORKS & SERVICES DEPARTMENT	JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY ASSIGNED TO: NIPPON KOEI CO., LTD. (NK) BINKO INTERNATIONAL, LTD.	04	DESIGNED BY	No.6 APPROACH TO GOVT., DEGREE BOYS COLLEGE (BATGRAM COLLEGE BRIDGE)	GENERAL VIEW PLAN	SCALE AS SHOWN
		05	DRAWN BY			
		06	CHECKED BY			
		07	RECOMMENDED BY			
		08	APPROVED BY			
REV.	DATE	DESCRIPTION	APPROVED BY	DATE		

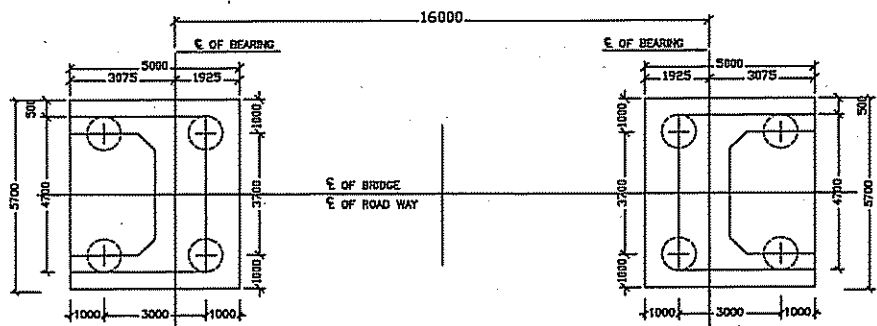
BR-3 : 橋梁 No.6 (ボーイズ・カレッジ橋) - 配置計画図



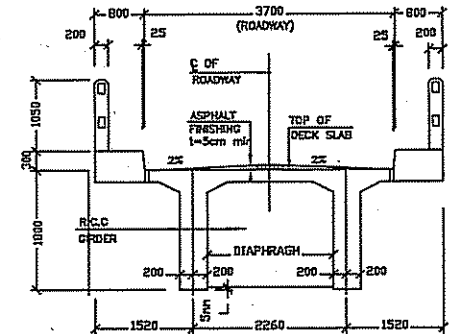
ELEVATION
SCALE = 1 : 150



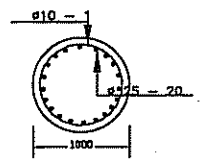
PLAN
SHOWING DECK SLAB & APPROACHES
SCALE 1= 150



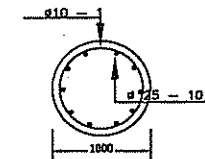
PLAN
SHOWING SUB-STRUCTURE
SCALE 1= 150



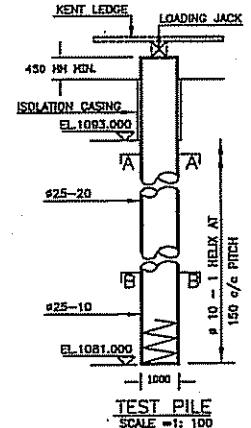
CROSS SECTION
SCALE 1: 75



SECTION A-A
SCALE = 1 : 40



SECTION B-B
SCALE = 1 : 40

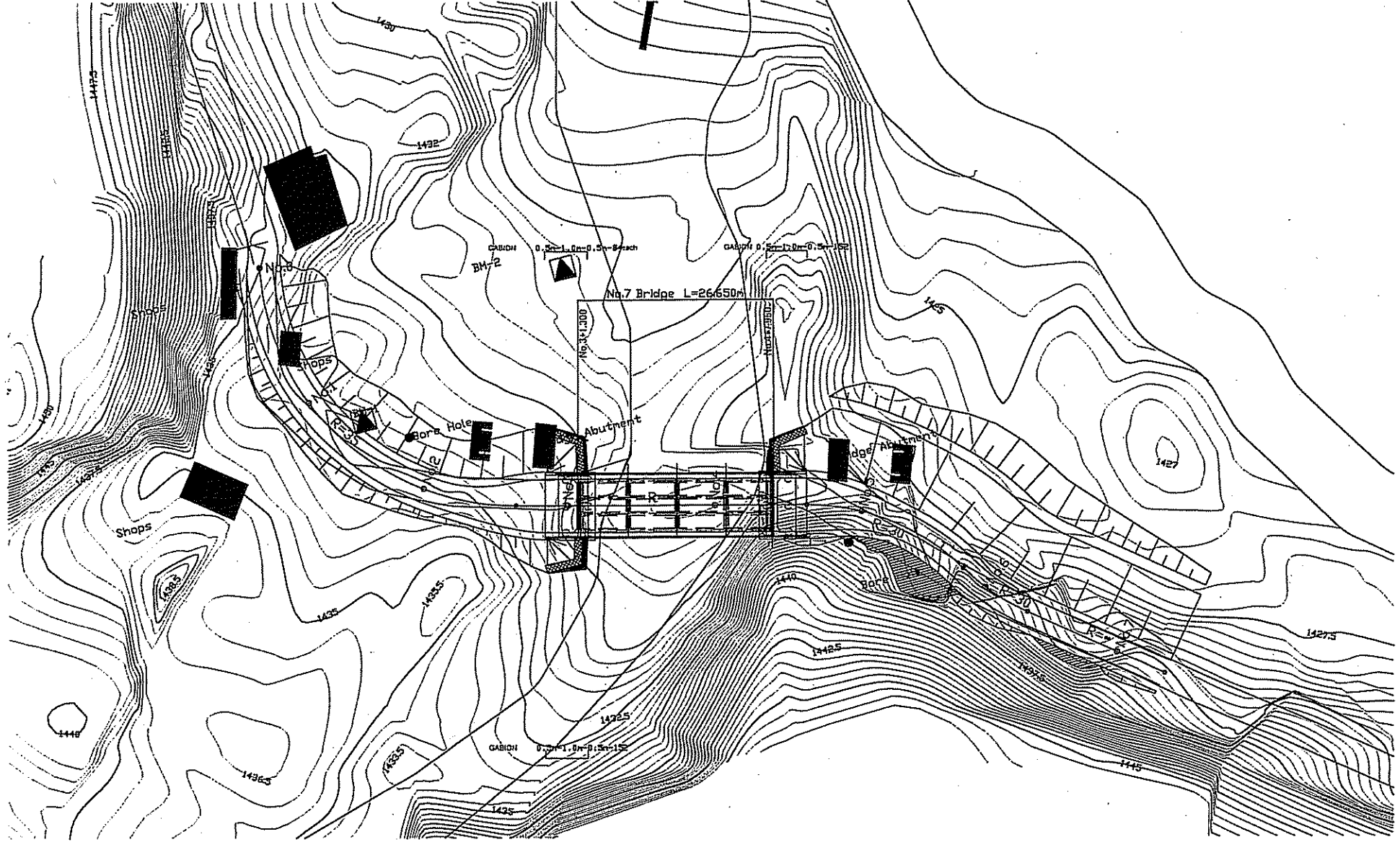


TEST PILE
SCALE = 1: 100

GOVERNMENT OF N.W.F.P. WORKS & SERVICES DEPARTMENT	JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY ASSIGNED TO: NIPPON KOEI CO., LTD. (NK) BINKO INTERNATIONAL, LTD.	D1 D2 D3 D4 REV. DATE	DESIGNED BY DRAWN BY CHECKED BY RECOMMENDED BY APPROVED BY	SHUKAT ALI AYUB FITOCHAR ABBAS AHMED MORGAN	No.6 APPROACH TO GOVT., DEGREE BOYS COLLEGE (BATGRAM COLLEGE BRIDGE)	GENERAL ARRANGEMENT	SCALE AS SHOWN
		DATE	DATE				

GENERAL VIEW PLAN

SCALE=1:500



GOVERNMENT OF N.W.F.P
WORKS & SERVICES DEPARTMENT

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
ASSIGNED TO:
NIPON KOEI CO., LTD. (NK)
BINKO INTERNATIONAL, LTD.

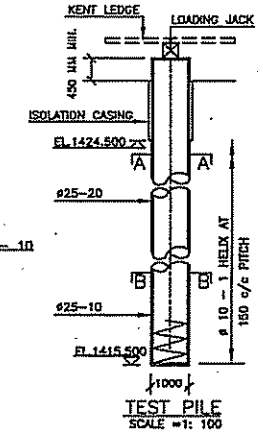
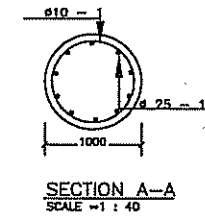
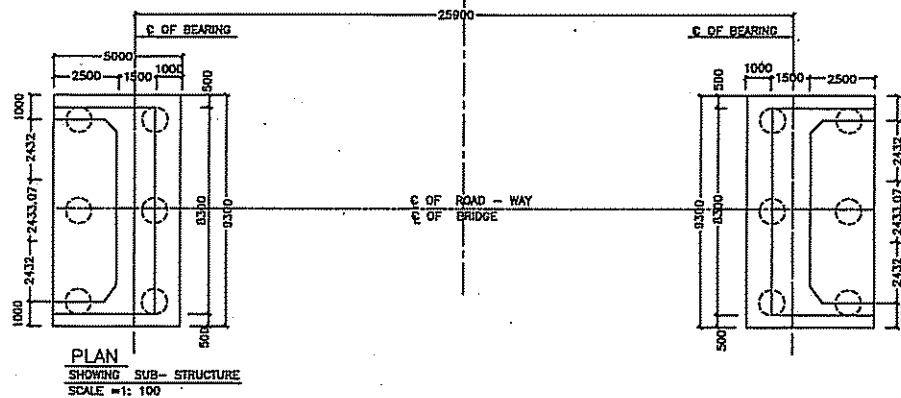
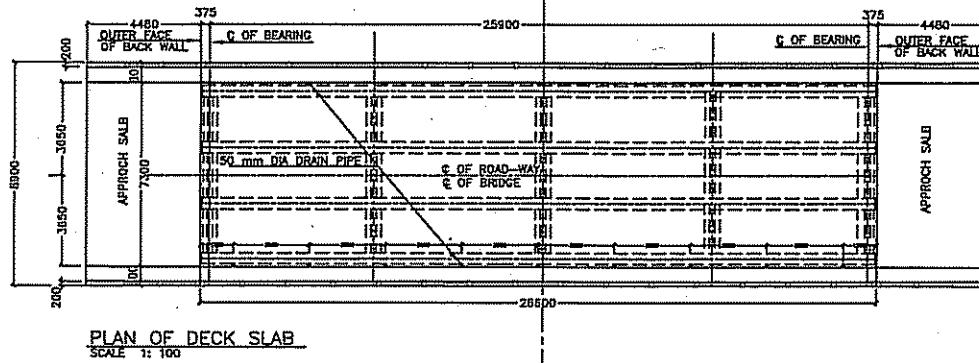
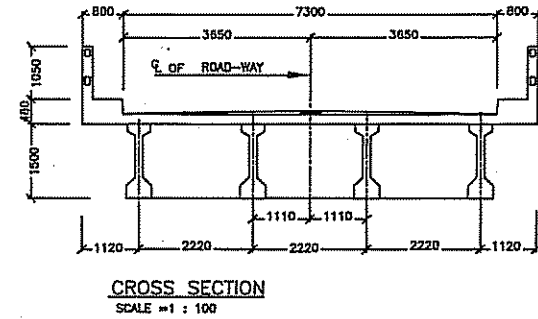
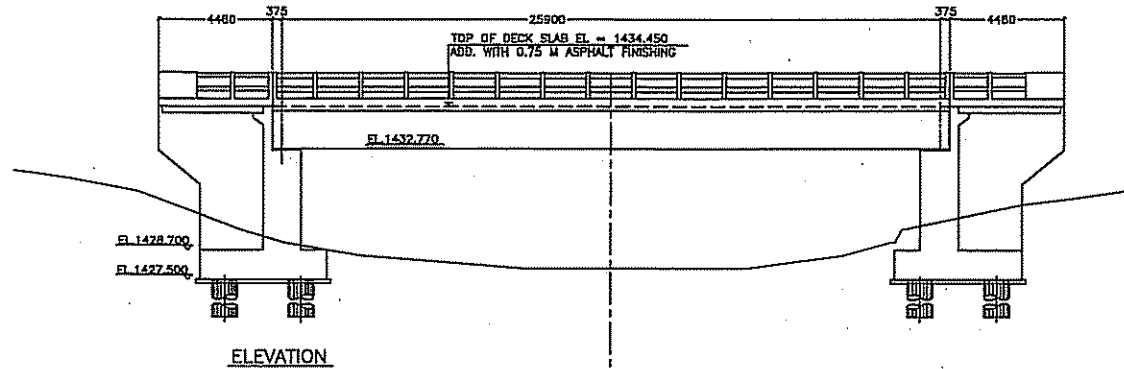
01	
02	
03	
04	
REV.	DATE
	DESCRIPTION

DESIGNED BY	
DRAWN BY	
CHECKED BY	
RECOMMENDED BY	
APPROVED BY	

No. 7 BRIDGE
(BAHARI BRIDGE)

GENERAL VIEW PLAN
DATE

SCALE
AS
SHOWN



GOVERNMENT OF N.W.F.P WORKS & SERVICES DEPARTMENT	JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY ASSIGNED TO: JICA NIPPON KOEI CO., LTD. (NK) BINKO INTERNATIONAL, LTD.	04		DESIGNED BY	SHAIKHAT ALI AYUB	No.7 BRIDGE (BAHARI BRIDGE)	GENERAL ARRANGEMENT		SCALE AS SHOWN
		03		DRAWN BY	IFKHAR ABBAS		DATE		
		02		CHECKED BY	AHMED MORGANI				
		01		RECOMMENDED BY					
		REV.	DATE	DESCRIPTION	APPROVED BY				

補足資料 4：既存施設の被災状況（保健医療セクター）

1. 県中央病院（3. 県結核コントロールセンターは本施設内にある。）

項目	状況
①敷地	主要道路の南及び北に面し、敷地全体は南から北にきつい勾配がある。
②施設被害状況 南側敷地：中央診療棟他 医療施設7棟その他居住 棟合計24棟 北側敷地：医師住居棟4 棟他に建設中のスタッフ居 住棟（RC2階建）3棟、 医師住居棟（RC平屋） 2棟がある。	南側敷地： 中央診療棟は2階建RCラーメン構造だが、1、2階部分の一部の柱が座屈し、一部が崩壊している。その他の医療施設及びその附属施設は、RC造だが柱、梁などの主要構造部に亀裂が見られる。病院スタッフ居住施設の大部分は石造で壁の一部が崩落しているなど大きな損傷が見られる。 北側敷地： 医師の家は石積みの平屋で壁の一部が崩落し使用できない。地震前に建設を開始し現在建設中の建物は、地震時に受けた亀裂を補修し、左官工事等の仕上げ工事を行っている。
③運営スタッフ状況	医師17名、医療技師19名、薬剤師10名、看護婦その他84名。合計130名
④アクセス	カラコルム・ハイウエーに面し、バタグラム市の中心地
⑤機材	他ドナーからの供与品を用い、仮設病院にて営業中。
⑥他ドナーの動向	特になし

2. バンナ地域保健センター

項目	状況
①敷地	敷地ゆるくは東から西に傾斜している。東側は川原に面し3m程の段差があり、一部が崩落しているが近接の建物に影響は無い。
②施設被害状況	医療施設は霊安室棟を含め5棟、居住棟8棟、モスク、ガレージ(駐車台数1台)各1棟の15棟の建物があるが、全て石積み壁式構造の平屋の建物で壁の崩落、梁の亀裂など構造部が大きく損壊している。 現在居住施設のうち2棟は、昼間は使用されている。現在近隣の仮設テント村で医療活動が続けられている。
③運営スタッフ状況	医師1名、医療技師6名、保健婦1名、看護婦その他6名。合計14名
④アクセス	アライ郡バンナ市の中心の主要道路に面し、車で敷地内まで入れる。
⑤機材	Save the Children からの供与品を用い、仮設病院にて営業中。
⑥他ドナーの動向	特になし

3. 保健省県事務所

項目	状況
①敷地	敷地は借地。
②施設被害状況	被災建物は借家で、被災後は県中央病院敷地横の借家建物とテントに分散し業務を継続している。 施設は執務室17室とその附属施設及び医薬品、医療機器、予防注射薬、その他を含め倉庫4室、ガレージ3台分となる。
③運営スタッフ状況	34名
④アクセス	現在の借家へは幹線道路から50m徒歩
⑤機材	現在は事務用机、椅子があるのみ。
⑥他ドナーの動向	特になし

4. 県結核コントロールセンター

（本施設は先に述べた県中央病院に被災時は含まれていた。）

5. クザバンド地域保健センター

項目	状況
①敷地	敷地は平らで非常に広い。
②施設被害状況	外来診療棟、入院棟、居住建物も損傷は少なく、診療及び居住にそのまま使用している。入院棟は現在、セミナー室として使用している。
③運営スタッフ状況	医師1名、医療技師1名、保健婦1名、予防接種技師1名他合計9名
④アクセス	幹線道路に面し敷地内に車で入れる。
⑤機材	8～10年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	特になし

6. タコット市民病院

項目	状況
①敷地	敷地は大きく湾曲する川に南西を面する平らで比較的広い敷地で、医療施設部分と居住施設部分に分かれ、その間に広い空地がある。
②施設被害状況	医療施設部分には8棟、居住施設部分には4棟の建物がある。外来診療棟、歯科治療棟、居住棟の被害が激しく、入院棟3棟は被害がない。診療は敷地内のテントで継続している。空地に売店を兼ねた守衛住居が建っていたが、これも崩壊している。入院棟及び歯科治療棟は地震前より使用されていない。
③運営スタッフ状況	医師1名、保健婦1名、予防接種技師2名他合計10名 歯科担当医は不在。
④アクセス	幹線道路に面し敷地内に車で入れる。
⑤機材	8～10年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	特になし

7. シュムライ基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	後背地が急峻で転石が多い山地で、転石の中には5cm程移動した跡がる石も見られる。医師の住居は直径5m以上の石に押しつぶされており、この敷地は施設再建には不適切である。
②施設被害状況	外来診療棟、守衛住居、医師住居は完全に崩壊している。保健婦、助産婦の住居は崩壊を免れているが、上部に移動跡がある転石があり使用は危険。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師2名、保健婦1名、予防接種技師1名他計8名
④アクセス	バタグラム市から西への幹線道路に面している。
⑤機材	8～10年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	NGO IBN-SINA AFGHNISTAN が援助を表明しているが、詳細不明。

8. パイマル・シャリフ基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	敷地は道路から3mほど下がっており、そこに外来診療棟及び守衛住居があり、さらに2mほど下がった敷地に医師住居、スタッフ住居がある。全体的に急勾配地を段状に切り取り各建物の敷地としている為、各敷地は狭い。
②施設被害状況	建物は全て石積み平屋で、外来診療棟は隅角部に大きな亀裂があり、その他の建物は壁の崩落或は倒壊している。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師2名、予防接種技師1名他計6名
④アクセス	車で直接敷地内に侵入することは出来ないが、道路に隣接している。
⑤機材	8～10年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	WHO が仮設の鉄骨造平屋の外来診療棟を建築中で、日本側が本設建物を建てた後は、スタッフ住居或は倉庫に使用可能。

9. パシュトゥ基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	敷地は川に向かって傾斜している土地を、切り取った部分で村の中心部でほぼ平坦。個々の建物の敷地は狭い。
②施設被害状況	建物は全て石積み平屋で、外来診療棟は崩壊し、その他の建物は被害は少ない。現在、診療はスタッフ住居庭にテントを張り継続。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師 2 名他計 4 名
④アクセス	車でいける地点から徒歩 300m
⑤機材	8～10 年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	WHO が仮設の鉄骨造平屋建の外来診療棟の提供を予定しており、日本側が本設建物を建てた後は、スタッフ住居或は倉庫に使用可能。

10. サカーガー基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	(不明)
②施設被害状況	(不明)
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師 1 名他計 4 名
④アクセス	地滑り、崩落などの危険があるため、道路規制により現地調査出来ず。
⑤機材	8～10 年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	WHO が仮設の鉄骨造平屋建の外来診療棟の提供を予定している。

11. ラシャング基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	ゆるい傾斜地を切り取った敷地で、個々の建物の敷地は狭い
②施設被害状況	外来診療棟及びスタッフ住居は、石造平屋の壁面が崩壊或は隅角部に大きな亀裂が生じている。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師 1 名、保健婦 1 名他計 6 名
④アクセス	車の到達点から 200m 徒歩。この基礎保健ユニットに至る道の渡河する部分に吊橋が施工途中で放棄されている部分がある。来院者は歩いて渡河しているため、この部分に橋をかけることは利用者の利便性に寄与する。
⑤機材	8～10 年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	WHO が仮設の鉄骨造平屋建の外来診療棟の提供を予定しており、日本側が本設建物を建てた後は、スタッフ住居或は倉庫に使用可能。

12. ジャンバイーラ基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	川に向かってのゆるい傾斜の敷地で、個々の建物の敷地は広くない。
②施設被害状況	外来診療棟及びスタッフ住居は、石造平屋の壁面が崩壊或は隅角部に大きな亀裂が生じている。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師 1 名他計 4 名 2005 年に 5000 名の子供にポリオの予防注射を接種。現在、施設なく 1 回/週に赤十字が来所し診察。
④アクセス	カラコルム・ハイウエーで車を降り、川原を 50m 徒歩で歩いた後、船で渡河し、さらに川原を 50m 歩いて至る。 現時点も非常に広い範囲をカバーする基礎保健ユニットであるが、人専用の吊橋を掛ける事により裨益面積の増大と利便性に寄与する。
⑤機材	8～10 年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	なし

13. ガリ・ナワブ・サイド基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	敷地は山の尾根の部分にあり、階段状の敷地に建物は建っている。それぞれの建物の全面には余裕がある。
②施設被害状況	石積み平屋の建物で、外来診療棟、守衛住居、医師住居には損傷は見られない。医療従事者住居の壁の一部が崩落しているが、全体的には尊称は非常に少ない。住居は使用されている形跡がない。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師1名他計4名
④アクセス	車の到達点から徒歩で100m段々畑を上がる。車で走る途中の道も非常に狭く危険な部分が多い。公共交通機関は通っておらず、村人は7, 8人で1台のジープを雇い、買出しをするとの事。
⑤機材	8~10年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	なし

14. シャングリ・ペイーン基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	敷地はゆるい階段状の部分で、各建物の敷地は狭い
②施設被害状況	外来診療棟は平屋RCラーメン構造だが一部の柱が座屈し、梁は損傷している。石積み平屋の居住棟は壁の崩落、崩壊している。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師2名、予防接種技師1名他計7名
④アクセス	車両でのアクセスできる地点から500m徒歩
⑤機材	8~10年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	なし

15. ファゴーラ基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	敷地は平坦
②施設被害状況	全ての建物は石積み平屋だが損傷は見られない。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師1名、保健婦1名他計4名
④アクセス	主要道路から敷地内までアクセス可能
⑤機材	8~10年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	なし

16. バティアン基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	尾根状の敷地で、住居部分から外来診療棟まで段々の敷地が続く。個々の建物の敷地は狭い。
②施設被害状況	各建物とも石積み平屋で、外来診療棟の待合室部分のRC柱は座屈による亀裂が見え、石積みの隅角部荷は大きな亀裂が生じている。その他の居住棟は崩壊している。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師1名、保健婦1名、予防注射技師1名他計7名
④アクセス	車道から10m山道を登る。
⑤機材	8~10年前の老朽化した簡単な診断、予防接種用の機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	WHOが仮設の鉄骨造平屋建の外来診療棟の提供を予定しており、日本側が本設建物を建てた後は、スタッフ住居或は倉庫に使用可能。

17. ジョーズ基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	ゆるい階段状の敷地で、建物それぞれの敷地は狭隘
②施設被害状況	外来診療棟、スタッフ住居ともに大きく損壊している。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師2名他計5名
④アクセス	狭い道路でのアクセスには時間は掛かるが、敷地まで車のアクセスは可能。
⑤機材	守衛が不在だったため、調査できず。
⑥他ドナーの動向	なし

18. カナイ基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	山の斜面を切り取り造成した敷地で、敷地全体及び個々の建物の敷地も狭隘。外来診療棟の前の擁壁は約7mある。
②施設被害状況	塀の一部が倒壊しているが、建物には損傷は見られない。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師1名、予防注射技師1名他計4名
④アクセス	アライ郡バナ市への幹線道路から脇道に入り、車到達点から50mほど急な村道を登る。
⑤機材	8～10年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	なし

19. バテーラ基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	(不明)
②施設被害状況	(不明)
③運営スタッフ状況	医師不在。計4名
④アクセス	地滑り、崩落などの危険があるため、道路規制により現地調査出来ず。
⑤機材	調査できず。
⑥他ドナーの動向	WHOが仮設の鉄骨造平屋の外来診療棟の提供を予定している。

20. カソーラ基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	尾根状に下ってくる階段状の敷地で、その先端に敷地入り口があるが、その前は急な坂で鞍部の農道に続いている。敷地全体も、個々の建物の敷地も狭い。
②施設被害状況	建物は全て石積み平屋で外来診療棟、住居棟ともに倒壊している。南西側の敷地境界の3～4m高さの擁壁に損傷は見られないが、個々の建物間の1m高さの擁壁は崩れている部分がある。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師2名、保健婦1名、他計6名
④アクセス	狭隘で危険な道だが、雨季或は降雨後の道がぬかるんでいない状態では山道10m程の距離まで近接可能。
⑤機材	8～10年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	なし

21. ハラーリ基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	敷地全体は平らで広く、それぞれの建物周辺は余裕がある。
②施設被害状況	全ての建物は石積み平屋で、外来診療棟及びスタッフ住居棟は隅角部に大きな亀裂が見られる。守衛住居は外壁から続いた塀の部分が倒壊している。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師1名、保健婦1名、予防注射技師1名他計6名
④アクセス	幹線道路から敷地内まで車の乗り入れが可能。
⑤機材	8～10年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	なし

22. ハイラバット基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	敷地は2段になっており、建物が建っている部分は車が入る部分より約1mあがっている。
②施設被害状況	全ての建物は石積み平屋で、外来診療棟は隅角部に大きな亀裂があり、スタッフ住居は壁の一部が崩壊している。医師住居、守衛住居も壁の一部が崩壊している。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師1名、保健婦1名他計5名
④アクセス	幹線道路から敷地内まで車の乗り入れが可能。
⑤機材	8～10年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	なし

23. サイドラ・ブランド・コット基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	村の中心部より離れ、しばしば沢の増水により施設が冠水する為、村で移設を計画。新規土地を決定し、移設を計画中。既存の土地は沢に沿った階段状の敷地で敷地は狭隘。新規の土地は階段状で広くはない。
②施設被害状況	全ての建物は石積み平屋で外来診療棟、住居棟ともに建物隅角部に亀裂が見られ壁上部に崩落、亀裂などの状態が見られる。外部の塀は大きく損壊している。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師1名、保健婦1名他計5名
④アクセス	既存敷地は村の中心の尾根より徒歩1時間の沢に下りた場所で、新規の土地は村の中心より30m程度で車でのアクセスが可能。
⑤機材	8～10年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	なし

24. バトレー基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	急勾配の山肌を切り取り、敷地としている為、全体は非常に狭い。後背地は急な斜面で、落石の危険がある。また、敷地前面は深い崖となっている。
②施設被害状況	全て石積み平屋だが、外来診療棟、居住棟にも損傷は認められない。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師2名、保健婦1名他計6名
④アクセス	後背地は街道に面しているが、街道から徒歩で急峻な山道を20mほど下る。
⑤機材	8～10年前の老朽化した簡単な診断機材、予防接種用機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	なし

25. アルガショーリ基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	敷地は川に向かって勾配のある広い敷地で、それぞれの建物は異なったレベルの擁壁の上であり、その敷地は狭い。塀の一部が倒壊している。
②施設被害状況	建物は石積み平屋の構造で、スタッフ住居の壁の一部に亀裂が見られ部が、損傷は非常に限定的で、補修が可能。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師1名、保健婦2名、予防注射技師2名他計10名
④アクセス	幹線道路より急峻な山道を100mほど下り、6m巾の谷川を飛び石伝いに渡り、20mほど上った所にある。
⑤機材	8～10年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	なし

26. ポモング基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	急峻な山肌を切り取り敷地としている。そのため各建物の敷地は非常に限定的で狭い。各建物の前面は非常に深い谷に面している。
②施設被害状況	各建物とも石積み平屋の構造だが、外来診療棟の一部に部分的な亀裂が見られるだけで、他には損傷は見られない。各建物は現在使用している。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師1名、他計2名
④アクセス	車道は村の中心部で行き止まりとなって、それから村の家々の間の狭い通路を50mほど歩き、その後山道を50mほど下ると至る。
⑤機材	8～10年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	なし

27. バタモーリ基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	敷地は南側に広がるゆるい勾配地だが、各建物の敷地は限定的。
②施設被害状況	全ての建物は石積み平屋の建物で、全て壁面の崩壊、或は倒壊しており使用できない。敷地内にテントを建て、医療活動を継続している。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師2名、保健婦1名、予防注射技師1名他計8名
④アクセス	幹線道路から敷地内まで車で乗り入れ可能
⑤機材	8～10年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	NGO IBN-SINA AFGHNISTAN が援助を表明しているが、詳細不明。

28. フータル・バトクール基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	全体は渓谷に続く勾配地で、敷地全体はそれほど広くないが、幹線道路との間に、道路状の敷地があり、全体的には余裕がある。
②施設被害状況	全ての建物は石積み平屋で現在、医療活動は医師の住居を使用して行われているが、この建物も隅角部や窓周りに大きな亀裂があり、使用を継続できない状態。外来診療棟は外壁の一部が崩壊し、その他の住居も壁が崩落している。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師1名、保健婦1名他計6名
④アクセス	幹線道路から敷地内まで車の乗り入れが可能。
⑤機材	8～10年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	WHO が仮設の鉄骨造平屋の外来診療棟の提供を予定しており、日本側が本設建物を建てた後は、スタッフ住居或は倉庫に使用可能

29. ベハリ基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	周りを急な段々畑に囲まれた、階段状の敷地で、それぞれの敷地は狭隘で、通路は畑のあぜ道で敷地形状は不明確。
②施設被害状況	全て石積み平屋の建物で、医師住居は大きい亀裂があるが、原形をとどめている。しかし、スタッフ住居、外来診療棟、守衛住居、10床病棟ともに完全に崩壊している。2台の水力発電機で本施設と村に送電していたが、今回の地震で壊れ現在は送電していない。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師1名他計5名
④アクセス	車の到達点から川原を50mほど上がり、10m位の川を飛び石伝いに渡り、それから段々畑を約1km歩くと至る。 施設の前の川向こうには、車道が通っており、川に橋を架けることで裨益面積は飛躍的に広がる。
⑤機材	8～10年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	なし

30. ループ・カナイ基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	(不明)
②施設被害状況	(不明)
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師1名他計4名
④アクセス	地滑り、崩落などの危険があるため、道路規制により現地調査出来ず。
⑤機材	調査できず。
⑥他ドナーの動向	なし

31. タイラス基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	敷地は山の裾野を階段状に切り開いた所で、敷地前面は河岸段丘の畑になっており、後背地は急な山肌が迫り、敷地は狭い。しかし、外来診療棟と医師住居との間に空地がある。
②施設被害状況	施設は全て石積み平屋で、医師住居のみ原形をとどめているが、大きく壁面が崩れ使用できない。外来診療棟、それ以外の居住棟も全て屋根が崩落し、壁も崩壊している部分がある。農道に面する2m程の擁壁が5mにわたって崩れている。スタッフ住居の残存部に小屋掛けし診療を継続している。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師1名、保健婦1名他計6名
④アクセス	車の到達点の村の中心から、村の中を抜け農道を約300m歩くと至る。
⑤機材	一部の外来診療器具があるのみ。
⑥他ドナーの動向	なし

32. クズ・タンドール基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	(不明)
②施設被害状況	(不明)
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師1名他計4名
④アクセス	地滑り、崩落などの危険があるため、道路規制により現地調査出来ず。
⑤機材	調査出来ず。
⑥他ドナーの動向	WHOが仮設の鉄骨造平屋の外来診療棟の提供を予定しており、日本側が本設建物を建てた後は、スタッフ住居或は倉庫に使用可能

33. ブラチャール基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	(不明) パシュトー村での聞き取りによると、実質的な活動は行っておらず、住民はパシュトー基礎保健ユニット或はバッテリー基礎保健ユニットを使用しているとの事。
②施設被害状況	(不明)
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師1名のみで運営スタッフ不在。
④アクセス	基礎保健ユニットがあるパシュトー村から山道を2km登った所にある。
⑤機材	調査できず。
⑥他ドナーの動向	なし

34. チャーバーグ基礎保健ユニット

項目	状況
①敷地	敷地は急な斜面を切り取り造成しており、全体の敷地もまた、個々の建物の敷地も狭い。南側は3m近い擁壁となっておりその下は田圃となっている。
②施設被害状況	建物は全て石積み平屋で外来診療棟、医師住居、スタッフ住居、守衛住居ともに壁の一部が崩壊している。
③運営スタッフ状況	医師不在。医療技師1名、保健婦1名、予防注射技師1名他計7名
④アクセス	敷地が面する農道まで車でアクセス可能。
⑤機材	8～10年前の老朽化した簡単な診断機材があるのみ。
⑥他ドナーの動向	なし

保健医療施設の写真

1. 県中央病院（4. 県結核コントロールセンターは本施設内にある。）



施設全景



崩壊した外科診療棟

2. バンナ地域保健センター



試験室及びレントゲン棟



倒壊したスタッフ居住棟

3. 保健省県事務所



借家の保健省事務所



保健省事務所

4. 県結核コントロールセンター（本施設は先に述べた県中央病院に被災時は含まれる。）

5. クザバンダ地域保健センター



外来診療棟及び試験室



研修室として使用している病棟

6. タコット市民病院



一部崩壊した外来診療棟



崩壊した守衛住居

7. シュムライ基礎保健ユニット



石で押しつぶされた医師住居



崩壊した外来診療棟

8. パイマル・シャリフ基礎保健ユニット



WHOの外来診療棟



大きく損壊しているスタッフ住居

9. パシュトゥ基礎保健ユニット



施設全景



外来診療棟崩壊跡

10. サカーガー基礎保健ユニット

(崩壊、崩落の危険があるため通行規制されており、未調査)

11. ラシャング基礎保健ユニット

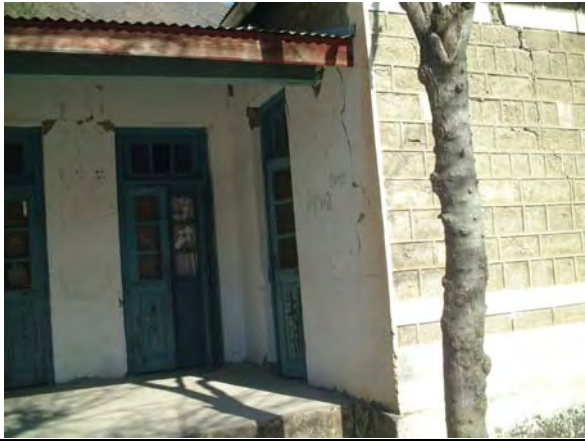


施設全景



大きく損壊しているスタッフ住居

12. ジャンバイーラ基礎保健ユニット



大きく損壊している外来診療棟



大きく損壊しているスタッフ住居

13. ガリ・ナワブ・サイド基礎保健ユニット



損傷がない外来診療棟



損傷がないスタッフ住居

14. シャングリ・ペイン基礎保健ユニット



大きく損傷している外来診療棟



壁の一部が崩落しているスタッフ住居

15. ファゴーラ基礎保健ユニット



損傷が見当たらない外来診療棟



窓周りにも亀裂は見当たらない

16. パティアン基礎保健ユニット



隅角部が崩壊している外来診療棟



大きく損壊、倒壊しているスタッフ住居

17. ジョーズ基礎保健ユニット



大きく損壊している外来診療棟



殆どの壁が崩落しているスタッフ住居

18. カナイ基礎保健ユニット



損傷が見当たらない医師住居



損傷が見当たらない外来診療棟

19. バテーラ基礎保健ユニット

(崩壊、崩落の危険があるため通行規制されており、未調査)

20. カソーラ基礎保健ユニット



大きく損壊している外来診療棟



倒壊しているスタッフ住居

21. ハラーリ基礎保健ユニット



隅角部が大きく損傷している外来診療棟



大きく損壊しているスタッフ住居

22. ハイラバット基礎保健ユニット



施設全景



壁の一部が崩落しているスタッフ住居

23. サイドラ・ブランド・コット基礎保健ユニット



沢側で冠水し移転計画中の施設



座屈している外来診療棟の柱

24. バトラー基礎保健ユニット



施設全景(損傷は見当たらない)



外来診療棟

25. アルガショーリ基礎保健ユニット



損傷は見当たらない外来診療棟



壁の一部が欠損したスタッフ住居

26. ポモング基礎保健ユニット



損傷が見当たらない外来診療棟



損傷は見当たらないスタッフ住居

27. バタモーリ基礎保健ユニット



大きく損傷している外来診療棟



完全に崩壊したスタッフ住居

28. フータル・バトクール基礎保健ユニット



隅角部が崩落している外来診療棟



大きく損傷している外来診療棟

29. ベハリ基礎保健ユニット



崩壊した外来診療棟と病棟



崩壊したスタッフ住居

30. ループ・カナイ基礎保健ユニット

(崩壊、崩落の危険があるため通行規制されており、未調査)

31. タイラス基礎保健ユニット



全ての屋根が崩落した施設全景



壁が崩落した外来診療棟

32. クズ・タンドール基礎保健ユニット

(崩壊、崩落の危険があるため通行規制されており、未調査)

33. ブラチャール基礎保健ユニット



この山の中腹にある

(実質的な活動なく住民はパシュトー基礎保健ユニット及びバテリー基礎保健ユニットに行き診療を受けているとの聞き取りで現地調査せず)

34. チャーバーグ基礎保健ユニット



大きく損壊している外来診療棟と医師住居



大きく損壊しているスタッフ住居